

農林水産省、環境省同時発表

平成30年11月9日

総合政策局環境政策課

## 国連生物多様性の10年「グリーンウェイブ2018」実施結果とりまとめ ～ 昨年比で参加人数が2.8倍、参加団体数が1.7倍となりました！～

国土交通省、農林水産省、環境省及び国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）では、平成30年3月1日より6月15日までの期間、「グリーンウェイブ2018」への参加と協力を広く国内に呼びかけました。

その結果、419団体の参加、143団体の協力のもと、約26,900人の参加者の手により、約22,200本の植樹が行われるなど、様々なグリーンウェイブ活動が行われました。

本年は、新たな取組として「オフィシャル・パートナー制度」（参考②参照）を創設したところ、パートナーを中心に活動が促進され、昨年比で参加人数が2.8倍、参加団体数が1.7倍となるなど、植樹等のイベントをきっかけとした生物多様性の広報、教育、普及啓発が促進されました。（参加団体等による取組については別添資料を参照）

来年も引き続き、オフィシャル・パートナー制度を活用した活動を促進します。

### ○「グリーンウェイブ2018」の実施結果

- (1) 参加団体（グリーンウェイブ活動を計画及び実施した、または植樹等の行事に参加した団体）  
419 団体  
協力団体（苗木・場所の提供や技術指導等を実施した団体）  
143 団体
- (2) 植樹等の活動に参加した人数  
約 26,900 人
- (3) 植樹した本数  
約 22,200 本

### ○参加人数及び参加団体数（平成23年からの累積数）



※黄色箇所：オフィシャル・パートナーがとりまとめた活動による数値。実績の内数。

#### 【問い合わせ先】

国土交通省総合政策局 環境政策課 <sup>ひがし</sup>東（内線 24-331）、村山（内線 24-423）  
TEL:03-5253-8111 直通:03-5253-8262 FAX:03-5253-1550

## 【参考①】

### ○「グリーンウェイブ」

世界各地において国連が定める「国際生物多様性の日」（5月22日）の午前10時に植樹等を行うことにより、地球上の東から西へ波のように広がっていく様子を「緑の波（グリーンウェイブ）」と表現しています。

国土交通省、農林水産省、環境省及び国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）では、生物多様性に関する理解が社会に浸透するように、植樹等をきっかけとした生物多様性の広報、教育、普及啓発を推進するため、生物多様性条約事務局は、国連が定める「国際生物多様性の日」（5月22日）に、世界各地の学校や地域等で植樹等を行うことを「グリーンウェイブ」活動として呼びかけています。

### ○「国連生物多様性の10年日本委員会」（UNDB-J）

2011年から2020年までの10年間は、国連の定めた「国連生物多様性の10年」です。生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）（2010.10 愛知県名古屋市）で採択された、新たな世界目標である「愛知目標」の達成に貢献するため、国際社会のあらゆるセクターが連携して生物多様性の問題に取り組むこととされています。

これを受け、愛知目標の達成を目指し、国内のあらゆるセクターの参画と連携を促進し、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する取組を推進するため、「国連生物多様性の10年日本委員会」（UNDB-J）が平成23年（2011年）9月に設立されました。

（ウェブサイト）<http://undb.jp/>

### ○植樹本数（平成23年からの累積数）



#### ＜結果概要＞（括弧内は昨年の数値）

参加人数：約26,900人（約9,500人）

参加団体数：419団体（245団体）

植樹本数：約22,200本（約21,700本）

※黄色箇所：オフィシャル・パートナーがとりまとめた活動による数値。実績の内数。

## 【参考②】

### ○「グリーンウェイブ」オフィシャル・パートナー制度について

本年の新たな取組促進策として、グリーンウェイブの活性化に特に貢献する企業・団体等を『グリーンウェイブ』オフィシャル・パートナー」に任命しました。本年は 9 団体をオフィシャル・パートナーに任命し、活動の呼びかけや取りまとめを強化しました。

詳細は以下のグリーンウェイブウェブサイトをご覧ください。

(ウェブサイト) <https://greenwave.undb.jp/index.html>

### ○オフィシャル・パートナーによる活動の広がりについて

今年は 9 団体をオフィシャル・パートナーとして任命しましたが、パートナーのとりまとめによる取組実績は、以下のとおりでした。

＜オフィシャル・パートナーが取りまとめた活動＞（分母は今年の全体数）

参加団体数：299団体/419団体（約7割）

参加人数：1.7万人/2.7万人（約6割）

植樹本数：1.2万本/2.2万本（約5割）

### ○森林づくり推進国民運動「フォレスト・サポーターズ」

日本の森林が、「植えて、育てて、収穫して、上手に使って、また植える」という「森づくりの循環」を取り戻し、地球温暖化防止や生物多様性保全を促進していくために始められた「美しい森林づくり推進国民運動」を、全国の企業・NPO や国民一般の参加を得て広げていくために、創設されました。

「森にふれよう」、「木をつかおう」、「森をささえよう」、「森と暮らそう」という「森のための4つのアクション」を呼びかけ、それぞれのアクションを実施する際に参考となる活動例やサポート団体等を紹介するとともに、具体的な実践ができるイベント等を紹介しています。

(ウェブサイト) <http://www.mori-zukuri.jp/>

(Facebook ページ) <https://www.facebook.com/foresapo/>